

川崎市聴覚障害者情報文化センターだより

情文センターまつり

ありがとう
ございました



5月25日(日)10時~15時、第18回川崎市聴覚障害者情報文化センターまつりを開催しました。今年は、304名の方々にご来場いただきました。

11月に開催される東京2025デフリンピックに向けて、今年もPRコーナーを設けました。昨年は射撃競技の選手にお越しいただきましたが、今年はハンドボール男子日本代表候補のお二人と、そのコーチにご協力いただきました。

手話で絵本の読み聞かせ(協力:特定非営利活動法人川崎市ろう者協会)や、デフ・パペットシアター・ひとみのパフォーマンスも、満員になるほどの大盛況となりました。また、先着100名様にお渡しした綿あめにも行列ができていました。ここでは、まず希望する綿あめの色(全5色)の手話を覚えてもらい、その手話で注文していただくという方法を取りました。



そのほか、手話体験や要約筆記体験、福祉機器展などもあり、多くの来場者でにぎわい、まつりは盛況のうちに終了しました。

今年も、各新聞社、地元のケーブルテレビ会社、商店街などのご協力のもと、まつりのPRを行うことができました。当センターの存在を知っていただく良いきっかけにもなり、大変嬉しく思います。

このセンターまつりは、当事者団体をはじめ、多くの皆さまのご協力があってこそ開催できるものです。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

最後に、当日の様子がケーブルテレビ「iTSCOM」の「イツコム地モトNEWS」で紹介されました。(字幕・文字起こしデータあり)。

以下のURLまたは右の二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/watch?v=gERnomOv9g0>



センター運営委員会

6月17日(火)に運営委員会を開催しました。当センターでは年に2回運営委員会を実施しています。今回の主な内容は令和6年度の事業報告、収支決算報告です。事務局からの説明の後、質疑応答と意見交換を行いました。

委員の皆さまからは、収支決算に関する質問のほか、当センター主催事業に協力した際の謝金のあり方、きこえにくいお子さんとそのご家族への支援などについてご意見をいただきました。

協力団体からの近況報告では、周年記念やデフリンピックに関連した大きなイベントのPRもありました。当センターとしても、今年度は次期指定管理の応募に向けて動く重要な年になります。皆さまからいただいたご意見や情報を参考にして、今後も当センター事業の充実を図っていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

ICT講座

【4月22日(火)】

今回は、スマートフォンでの入力をぐっと楽にする「単語登録(ユーザー辞書)」について学びました。

たとえば、長い住所やメールアドレスを毎回入力するのは大変ですが、ユーザー辞書に登録しておけば、



短い文字を入力するだけで候補として表示され、すぐに選ぶことができます。実際に、「か」と入力するだけで「川崎市中原区〇〇…」と表示されるように登録しておく、手間が省けてとても便利です。iPhoneとAndroidでは設定方法が異なるため、それぞれの資料を見ながら操作を進めました。皆さん最後まで集中して取り組み、しっかり使い方を身につけていました。

特に、メールアドレスは英数字を正確に入力する必要があるため、単語登録をしておくとも入力の手間が減り、とても楽になります。実際に登録を終えた方の中には、「今までの苦勞が嘘のよう!」と喜ばれている様子も見られました。

【6月8日(日)】

スマートフォンの地図アプリ(Google Maps)について学びました。職員が現在地から目的地までの検索方法や、位置情報の設定方法などを説明し、参加者の皆さんも試行錯誤しながら最後まで熱心に取り組んでいました。今回は「川崎大師」を目的地に設定し、現在地からのルートが表示されることをそれぞれ体験していただきました。「Google Mapsのアイコンがあることを知らなかった」「アイコンは見たことがあったが使ったことがなかった」「使い方がわからなかったので、今回学べてよかった」といった声も寄せられ、学習の成果を実感する機会となりました。



関係4団体(特定非営利活動法人川崎市ろう者協会、特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会、川崎市登録手話通訳者団、川崎市登録要約筆記者協会)の皆さまにはアシスタントとしてご協力をいただきました。どうもありがとうございました。

次回は10月21日(火)です。皆さまのご参加をお待ちしております。

第1回聴覚障害者福祉講座

7月13日(日)に、令和7年度第1回聴覚障害者福祉講座～地域の力を高めるために Part1～災害時の地域の助け合いについて学ぼう!を開催しました。講師は、ろうの防災士 NPO 法人インフォメーションギャップバスター インクルーシブ防災プロジェクトリーダーの鈴木義雅氏です。

鈴木氏は講演の中で、聴覚障害者は「守られる存在」から「共に支える存在に」というお話をされていました。障害者=援助される人、援助を受ける人、という見方になりがちですが、実際に災害が起こったときには、誰もが支え、支えられる存在



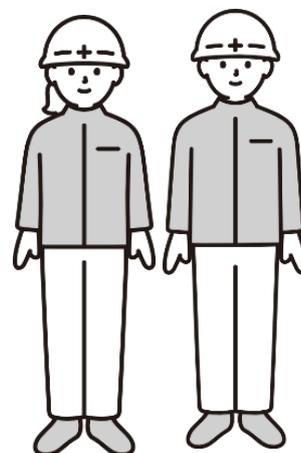
となるのだということだと思います。具体的には、避難所での役割を持つようにとのこと。掲示物を貼り出す役、炊き出し、子供の見守りなど、できる役割はたくさんあります。聞こえる人は「一緒にやろう」と聴覚障害者に声をかけ、一緒にやる。このことで、避難所での聴覚障害者の孤立を防ぎ、さらには地域の役に立てる、一石二鳥です。まとめでは、一人ひとりの声が「共助」とのお話でした。障害がある人、障害がない人、それぞれが声をかけ合って、インクルーシブな地域社会を作っていけたら、それが最強の防災だと思いました。



消防局職員対象研修

6月17日(火)、川崎市消防局の救急隊員を中心とした30名ほどの方を対象に、研修を行いました。テーマは「聴覚障害者を正しく理解しよう～救急現場で必要な知識・手話を学ぶ～」。前半は講義で聴覚障害者に関わる知識等について説明。聴覚障害者のコミュニケーションのニーズはさまざまであることを知っていただきました。後半は実際に救急現場で使える手話単語や、難聴者とのコミュニケーション時の注意点などを対話形式で学んだ後、ロールプレイで駆け付けた現場にいるろう者・難聴者とのやりとりを体験してもらいました。参加される皆さんの目は真剣そのもの。いつも救急の現場にいらっしゃるからこそその質問もありました。

この研修は毎年行っていますが、いつも講師として特定非営利活動法人川崎市ろう者協会、特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会にご協力いただいています。救急隊員の皆さんが、当事者の生の声を聞くことができるとも貴重な機会となり、救急救命の現場で役立つ知識や考え方を知っていただくことができたと思います。ご協力ありがとうございました。



【手話】新登録研修

4月～6月にかけて、全3回の手話通訳者新登録研修を行いました。4月の研修では、特定非営利活動法人川崎市ろう者協会、特定非営利活動法人川崎市中途失聴者・難聴者協会、川崎市登録手話通訳者団、川崎市登録要約筆記者協会、全国手話通訳問題研究会神奈川支部の各代表より団体についてお話をいただいたほか、川崎市の手話通訳派遣制度や実際の通訳活動時の注意点などを学びました。5月には手話通訳派遣コーディネーターが通訳を担当する現場に同行し、実際の通訳の様子を見学する現場実習を実施。6月にはこの経験をふまえ、現場へ出ていくにあたっての不安等を話し合いました。これまでの養成課程、そして新登録研修で学んだことを胸に、長く活動を続けていただければ幸いです。



【要約】新登録研修

令和7年度要約筆記者新登録研修を4月4日(金)、11日(金)、18日(金)、25日(金)4日間の日程で開催し、手書き4名、パソコン1名が出席しました。講義では「登録活動に必要な制度の説明」、「市内関係団体の紹介」、「要約筆記者の健康管理」、「倫理面の心構え」を学び、実技では現場で必要となる技術を学びました。全国統一要約筆記者認定試験から約2か月、養成講座とは違った雰囲気緊張している様子でしたが、とても熱心に取り組んでいました。この研修で学んだことをふまえて、派遣現場に臨んでいただきたいと思います。



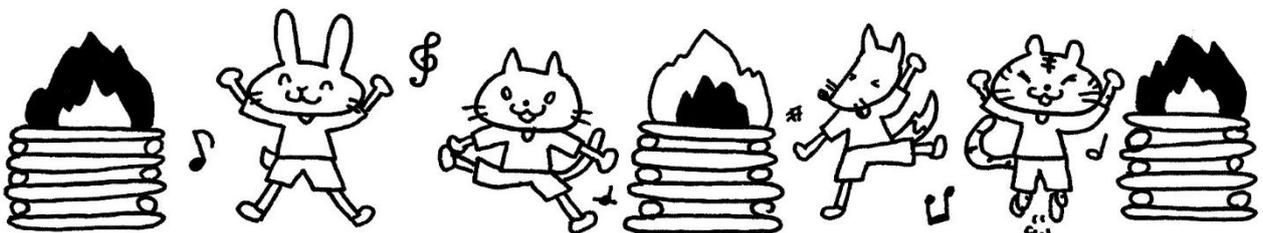
【手話】養成講座(令和7年度開講情報)

令和7年度は手話に関する養成講座を5講座開講します。

- ① 奉仕員養成講座(単発コース/入門編) 毎週土曜 全18回 10月25日～
- ② 奉仕員養成講座(単発コース/基礎編) 毎週土曜 全19回 開講中
- ③ 奉仕員養成講座(通年コース/入門・基礎) 毎週木曜 全37回 開講中
- ④ 通訳者養成講座(基本課程・通訳Ⅰ) 毎週土曜 全29回 7月19日～
- ⑤ 通訳者養成講座(応用課程・通訳Ⅱ) 毎週土曜 全30回 開講中

実技講師を担当してくださっているのは、特定非営利活動法人川崎市ろう者協会、川崎市登録手話通訳者団の皆さんです。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

各講座の詳しい情報は、当センターホームページをご覧ください。



【要約】養成講座開講

5月9日(金)に説明・選考会を行いました。選考の結果、手書き7名、パソコン5名で講座がスタートしました。5月23日から来年1月30日までの長い講座となります。厚生労働省カリキュラムの84時間は座学の講義もあり、要約筆記の実技の学習もあります。外部講師には大学教授、弁護士、特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会講師、一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会講師などの協力をいただいております。実技は地元の特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会、川崎市登録要約筆記者協会に担っていただいております。

受講生の皆さまが、長い講座を乗り切って、来年2月15日の全国統一要約筆記者認定試験合格を目指していただきたいと思っております。とはいっても、受講生の皆さんは、当センターも初めて、要約筆記も初めてという状態だと思っております。

まずは当センターに通うことに慣れて、少しずつ様々なことを学んでいただきたいと思っております。講座の中で、当センターを知ってもらうために、スタンプラリーを行いました。難聴者との「筆談おしゃべりタイム」も行います。難聴者と交流することや、困っていること、楽しんでいることなども学んでほしいと思っております。特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会の行事に参加することで、交流をしたり、実際の要約筆記現場を見ることが出来ます。是非積極的に参加していただきたいと思っております。



おかげ様で「情文センターだより」は **100号** を迎えました。

センターだより 1号



当センターは2000年(平成12年)1月に運営を社会福祉法人川崎市社会福祉協議会に委託されオープンしました。当時の職員は常勤嘱託(所長)1名、正職員3名、非常勤嘱託7名の合計11名でした。2016年度(平成28年度)の社会福祉法人神奈川聴覚障害者総合福祉協会へ運営受託の変更を経て、現在の職員配置は正職員10名、常勤嘱託職員2名、非常勤職員6名、合計18名の大所帯となりました。

オープン半年後に情文センターだよりの1号が発行され、今回100号を迎えることができました。たくさんの方のご協力とご愛読に支えられてのことです。心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

ビデオ通信 94



●貸出ベスト5

(2025年4月1日から
6月30日)

順位	ジャンル別	本数
1位	映画・ドラマ	27本
2位	センター制作分	20本
3位	手話学習	6本
4位	手話	2本
5位	教育・教材	1本

●データ紹介

	来所者数	ビデオ貸出数
4月	820	11
5月	758	20
6月	908	27
合計	2,486	58

<休館日のお知らせ>

休館日は毎週月曜日と祝祭日です。月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日も休みとなります。(■休館日)

2025年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月24日 全館清掃のため休館

2025年10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025年9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2025年11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

川崎市聴覚障害者情報文化センター

〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町 14-16



東急東横線・目黒線
元住吉駅西口
徒歩約15分

※当センターに駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください

ホームページ

<http://www.joubun.net/>



公式 LINE ID

@361knuro



X(旧ツイッター)

